

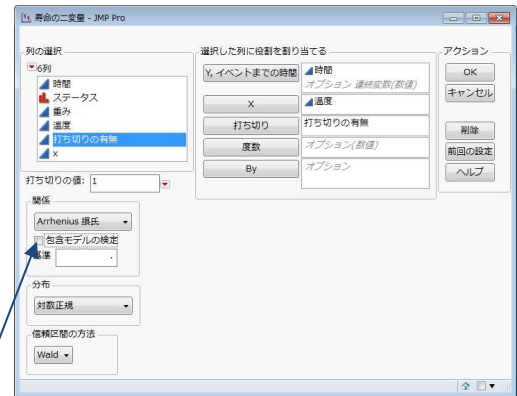
加速寿命試験 (寿命の二変量)

加速寿命試験データの分析を行うには寿命の二変量を使用します。具体的には、このプラットフォームはイベント発生までの時間と分析対象の因子間の関係をモデル化するのに使用されます。

加速寿命試験(寿命の二変量)

1. 分析 > 信頼性/生存時間分析 > 寿命の二変量を選択します。
2. 列の選択から、時間の連続変数(青い三角のアイコン)を選択し、Y, イベントまでの時間をクリックします。
3. 要因を選択して、X をクリックします。
4. データが打ち切りの値を含む場合、打ち切りの変数を選択して打ち切りをクリックします。必要な場合、打ち切りの値を変更します(デフォルト値は 1)。
5. 関係、分布、信頼区間の方法を選択し、OK をクリックします。

例: Devalt.jmp (ヘルプ > サンプルデータ > Reliability)



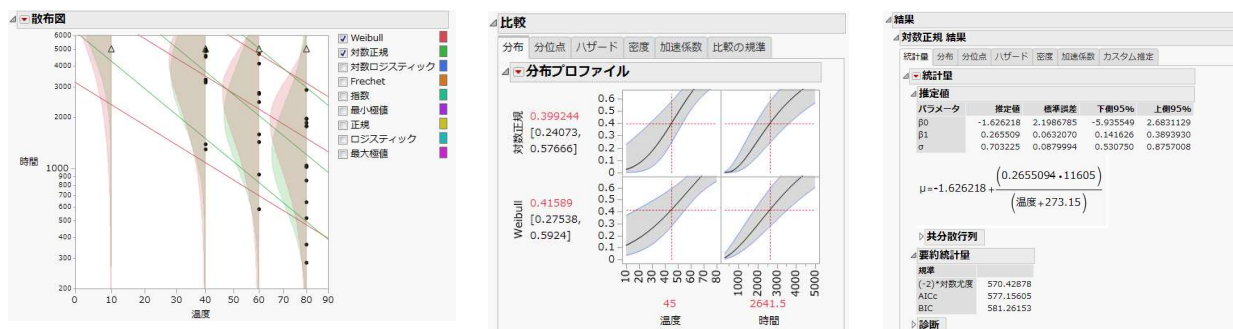
注意: 包含モデルの検定にチェックが入っていると、レポートに包含モデルの検定とプロットが追加されます。ここではチェックを外しています。

JMP® は以下を表示します:

- データの散布図: イベントまでの時間(Y)が要因(X)ごとにプロットされます。三角形のプロットは打ち切りの値を示します。

散布図の横の赤い三角ボタンから密度曲線の表示や分位点曲線の追加を選択すると、要因の異なる値に対する密度曲線や分位点曲線を比較できます。異なる分布を選択したい場合、クリックしてください(下図左)。

- 比較のパネル: 選択した分布ごとに様々なプロファイルや統計量を比較できます(下図中央)。
- 結果のパネル: 選択した分布ごとに診断プロットや統計量の出力、プロファイル、分位点や確率を計算するカスタム推定の計算機能を含みます(下図右)。



注意: 個々の分布のあてはめやすべての分布のあてはめ、タブ形式で結果を表示等の他のオプションが一番上の赤い三角ボタンから利用できます。レポート内の赤い三角ボタンをクリックすることで追加の機能にアクセス可能です。詳細については、信頼性/生存時間分析(ヘルプ > ドキュメンテーション以下)を参照するか、JMPのヘルプで「寿命の二変量」を検索してご確認ください。